広報
さめがわ
昭和54年
1月号
No. 301
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所

草原の静寂

朝まだき鹿角平草原にまだら雪おき年あらたまる
中の谷地水鳥どちの影みえずただ広びろと草はひろごる

曙峯



鹿角平乾草供給センター牧場の夜明け

- ⦿ 1月6日　消防出初式
- ⦿ 1月15日　鮫川村成人式
- ⦿ 12月15日～1月14日　年末年始交通事故防止運動
- ⦿ 12月15日～1月14日　年末年始防犯運動

今月の人口

（12月28日現在）

人口	5,801	(+7)
男	2,908	(+2)
女	2,893	(+5)
世帯	1,171	(−1)

暁の闇をついて 火災防禦訓練







年末火災予防週間の最終日午前6時、まだ明けない暁闇をついて鮫川村消防団と常備消防出張所合同の火災防禦訓練が渡瀬保育所を中心に行われ、勇壮で的確迅速な消火活動が展開され、地域の人々の信頼感を高めました。

年末年始交通事故防止運動
12月15日～1月14日
一度だけ一杯だけが事故のもと

村税完納に感謝 年内に全村完納達成

納税については、村民皆様の深いご理解とご協力をいただき、毎年全村完納の実績をあげておりますことを深く感謝いたします。

昭和五三年度も、前年に引続き一二月二七日に「全村完納」の輝かしい実績をおさめ、「継続二二年全村完納」の金字塔をうちたてることができました。この実績は各区長さん、代理さん、組長さん方のご労苦と、納税者皆様のご理解あるご協力の賜で、厚くお礼を申し上げます。

昭和五四年度の納税につきましてもよろしくお願いいたします。

おめでた

一二月

中山　國井　礼子父國井　俊治
石井　中川西純子父中川西正夫
大根屋敷　金沢　和幸父金沢　清和
土路部　関根　孝徳父関根　善徳

おくやみ

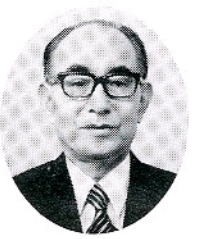
一二月　年令　世帯主

木之根　赤坂　三郎90才赤坂義郎
芦ノ草　窪木　源義71才窪木敏郎

おはなのちみ(45)

昭和五四年にかける期待

村長　石田卯子八



昨年一二月には福田内閣に代って大平内閣が誕生し、わが県から政権担当政党の幹事長や、自治大臣が生れるなど、よろこびと期待と忽忙のうちに年はあらたまり、ここに昭和五四年の新春を迎えました。

新しい年に限りないのぞみをかけながら、心から皆様のご多幸をお祈りします。

昨年は一般経済界の景気の好転には至らなかったものの、記録的な高温多照で農作物は軒なみ増産され、水田利用再編対策で一〇・八%の減反転作を実施しても、なお政府売渡米は限度数量二九、七六四俵に対して追加売渡希望数量三、九七一俵があり、合せて三三、七三五俵を売渡せる豊作となりました。

特産物のこんにゃくも他産地の干害による減産の影響で価格が向上し、畜産も外圧に耐えて低落をまぬがれ、まずはよき年であったといえるかと思います。

水田の転作は地下水位の高いわが村では困難性の高い事業ですが熱心な農家の方々のご尽力で、目標面積六一haに対して実施確認七三・五haと一二〇%の達成率となり、しかも通年施行による小土地改良事業が二五農事組合で約二〇ha実施されることになったことは農業者皆様の意欲の程が理解され深く敬意を表したいと思います。

この事業は新しい年にも引続き実施されるわけでありますから、技術的にも研讃を積んで、立派な実績をあげられることを期待するものであります。

昭和五四年はのぞみ多き年であるとともに、また多難な年でもあります。

激しく変りゆく社会状勢に対処して、これからの社会、経済産業、行政の進むべき方向を的確に見定めて施策の展開を図らなければなりません。

村としても就業構造が多様化している中で、農業、商工業、サービス業などの調和を図りつつ、中核としてあるべき農林業の姿を求めなければならず、新農業構造改善事業へのとりくみを計画しております。

また、文教施設の充実、道路網の整備、福祉の向上など大きな事業をかかえて、新年度に望むことになります。

皆様の福祉のいよいよ篤く繁栄のますます盛なることを祈りながら、かわらぬ村政へのご協力をおねがいいたします。

書初め展作品募集

第五回鮫川村書初め展（村公民館主催）を一月二六日から開催いたしますので、毛筆作品を多数出陳して下さい。

記

㈠募集期限　昭和五四年一月二三日（火）

㈡作品提出先　鮫川村公民館

なお作品は一月二六日から三一日まで村公民館に小中学校作品と共に展示いたします。

㈢書題

㈠課題作品の部　「文化の故郷」　楷書

㈡自由作品の部　書題、書体とも自由

㈣用紙　特に定めず自由

㈤対象　村内居住一五才以上の者

㈥表彰　金賞、銀賞、銅賞、佳作に賞状をおくります。

年頭の特別警戒

今年こそ無火災を記録するよう消防署では年頭の特別警戒を行っております。みなさんのご協力をお願いいたします。

家族ぐるみで火災予防につとめ明るく楽しい正月をすごして下さい。

!!それぞれの持ち場で生かせ火の用心!!

白河消防署鮫川出張所

成人者の感想文募集

成人者の感想文をつぎにより募集します。多数お寄せ下さい。

㈠締切日　昭和五四年一月八日

㈡提出先　鮫川村公民館

㈢内　容　成人に関する感想、テーマは自由

㈣応募資格　今年、成人式を迎える人

㈤用　紙　四〇〇字詰原稿用紙二枚以内

年頭の挨拶



農業生産態勢の確立

議長　大楽勝男

昭和五四年の年頭にあたり鮫川村議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆さん明けましておめでとうございます。

希望に満ちた新春を迎え、皆様のご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

私も就任以来八年、その重責を肝に銘じて微力ながら円滑な議会の運営と村政伸展のため専心懸命の努力を傾注して参りました。

おかげで五三年も大過なく越年することが出来ました。これひとえに村民皆様のご支援ご協力の賜であると、心から感謝の意を表する次第でございます。

その間昭和四九年度には優良議会として県議長会より、昭和五〇年度は全国議長会より表彰され一入の感激を覚えながら受賞いたしました。これは自治法施行以来本村議会の先輩の業績でありますが任期中であり終生の想い出となることの一つであります。

さて昨年は年間を通じ恵まれた天候のもと、すべての生産物はまれに見る豊作となり、特に産米は県南最高の米質と評価され、収量においても大量の超過米も何んとか年内に処理された模様であり、特産物等の価格を見ても予期以上の成果であったと存じます。

恵まれない条件のもと、今日の成果を得ることは日頃の皆さんの努力の結晶であり、深甚なる敬意を表する次第でございます。

昭和五三年は内外共に多難の年と言われ、米の需要供給のアンバランスから水田利用再編対策を今後一〇年間続ける政策が打出されました。

当初は問題多いものと判断されましたが、食管堅持を理解され容易に達成され減反割当をはるかに上回る成果をあげられました。

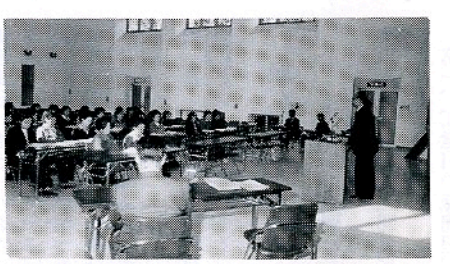
現在の生産物で最も安定し収益性の高いのは米作りであります。

しかし、私達も将来の農業を展望するとき、何を求むるべきか。

私は常に米は量より銘柄の時代であり、特に高冷地に位置する本村農業経営内容の見直し時期来るを感ずるものであります。

それには再編成対策による小規模土地改良の事業、更に五四年度計画指定を受けようとしております新農業構造改善事業を高度に活用して、総合的土地基盤の整備を行い、生産態勢を確立して生産物需要の動向に対処したいものと思考されます。

更に、多年の宿望でありました阿武隈開発が完了する年次となっております。雄大なるこの施設を活用し、名実共に畜産村としての地位を確保したいものと希望を新たにし、今年も皆さんと共に歩む村政を誓い、ご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。



公民館の主催で開かれた婦人学級。第一日は開級式のあと村長から村政の課題と題して講話があり、熱心な質疑や要望が出ました。

知っておきたい

氷雪路での運転チェック

急ブレーキは、普通の道路でもしばしば事故につながります。

まして、すべりやすい氷雪路はどこもかしこも危険がいっぱいです。氷雪路を走るときは、次の点に注意しましょう。

▽車間距離を十分に。

▽急ブレーキは絶対にかけないこと。

▽ブレーキを踏む場合は、小きざみに。

▽歩行者や自転車のそばを通るときは十分注意し、最低一メートル以上離れて通過しましょう。

▽止まるときは十分余裕をみて減速し、早めにブレーキングを始めましょう。

これからの鮫川村を考える

村長を囲んで
商工青年懇談会



出席者　石田村長，藤田卓三会長，藤田隆千代部長
外商工会青年部役員12名

村の商工業に従事する中堅の人たちで組織する商工会青年部の皆さんは、村の将来と農商工業の発展を真剣に考え、よりよい村にしていこうと、毎年村長を囲み懇談会を開いています。

今回は、一二月八日、藤田隆千代部長の司会で部員のほか、藤田卓三会長も参加し、熱心な懇談会が行われました。

青少年の家に宿泊施設を！



湯座良政　私はまず教育問題についてお伺いします。

第一、鮫中の先生は二～三年で転任してしまう方が多く、子供の進路指導、就職指導面からいっても、もう少し長くいていただきたい。

第二、宿ノ入の教員住宅は一棟に三人入っており、一人当り六畳の部屋しかなく、民間に下宿して通っている先生もいますが、今後増築の予定がありますか。

第三、学生の非行化の問題ですが、中学校の場合先生や教育委員会ではどのような対策をとっているのでしょうか。

第四、戸草分校が青少年自然の家として改築し、東京方面からの生徒たちに宿泊させる施設にする予定がありますか。

第五、学校給食は現在週二回米飯給食を実施しておられますが、今後、パン食と米飯給食をどのようにしていくのかおたずねします

村　長　立派な先生に長い期間いて頂いて教育してほしいというのは父兄を始め、村も教育委員会も同じ考えです。

最近特によくなったと思うのは県が大学卒の優秀な新任の先生を最初に当村のようなへき地に赴任させる方針をとっていることです。

そこで先生方にとって困ることは、勉強する機会が少なくなることでしょう。講習会、研修会に出席するのに遠いし、研究機関や娯楽機関も乏しいといったことが障害ということになりましょう。

しかし、これを強制的にとめることは、憲法上のことにもなるので出来ない。少しでも長くいてもらうには、父兄、村民の方々が先生を尊敬し、大事にして不自由、不満のないように親切な心で接していくより他はないわけです。

先生が村内に住んでおられると子供との接触、父兄との交流によって、子供の生活指導や地域文化の向上にも好い影響があるので、是非先生方には鮫川村に住んでいただきたいと思っています。

現在、村に教員住宅は一八棟あって、この住宅に二四人の先生が住んでおられる。宿ノ入の住宅のように一棟を三人で使用される例もあるが、せまい反面独身者の場合、三人で共同生活をして便利な面もあると思う。それでも教員住宅はまだ不足しているので、五四年度には宿ノ入にもう一棟増築し、次に富田小学校、渡瀬小学校にも建てる計画です。

そのあと、アパート型の共同的なものと、西野小や青生野小の住宅の改築、西山小学校の校長住宅の改築と逐次進めていきたい考えです。

青少年の非行化が問題になっているが、鮫川村の場合、それほど悪いとは思ってないが、原因については学校の教育だけに責任を負わせてはならない。やはり家庭の教育、家庭の「しつけ」に大きな責任があると考えるべきです。

子供はかわいがるだけでなく、家庭でしつけを身につけることが大切だと思います。それと同時に先生方も気を配って頂きたい。

次に青少年の家ですが、戸草分校が鮫川小学校に統合されたのでこれを多少改造して青少年が楽しく使える場所にしたいということで設計してみたところ食堂、寝室、研修室などを作るには五～六千万円経費がかかります。それでとりあえず若干の修理をして、地元の青年の方々や諸会合に使ってもらっています。

いずれ財源が見つかれば立派に改造したいと考えています。

学校給食については現在一週に二回米飯をとり入れています。どちらがよいかという問題になると一概にはいえない。

農村の立場からいえば、毎日米飯給食もよいでしょうし、パンも米飯もやめて、おかずだけを出す方法は一番簡単ですが、そうすると給食費を村で負担している家庭でも弁当を持参させなければならなくなる。

この問題はよく研究して、父兄の了解を得てからでないと急には変更できないことです。

湯座良政　もう一つおたずねしますが、現在使われている阿武隈開発の宿舎ですが、事業が五四年度に終って宿舎が空いた場合、村で借り上げる予定はありますか。

村　長　村で買って、教員宿舎に使いたいと思っています。

観光地にキャンプ場を

早川正博　村の観光開発についておたずねします。

第一、江竜田の滝周辺、特に渡



瀬川渓谷の開発と樹木買い上げ等による観光保全につとめていただきたい。

第二、館山地区に農村公園をつくる計画がおありのようですが、完成の兇通しと、どのような内容の公園をつくられるのでしょうか。

第三、江竜田の滝や強滝等に観光開発の一環としてキャンプ場の設置を要望します。

村　長　鮫川村の観光資源は何であるかというと、自然の美しい景観と温泉ではないでしょうか。

温泉は非常に重要な資源なので大いに利用を図っていきたいものです。

江竜田の滝は、滝そのものよりも滝の上流下流、渡瀬川の渓流全体が美しい。環境を保全するには周辺の樹木を買い上げるという方法もありましょうが、やはり地元の人たちが滝や渓流の美しさを十分に認識して協力してくれることが大切ではないかと思います。

渡瀬川下流には孫四郎渕の伝説がありますが、こういうものも大事に残していきたい。

館山公園については、専門家に見てもらってよい構想をかため、赤坂下総守が親子三代にわたって住んでいたという歴史やいい伝えを大事にしながら、頂上部を広げ休憩所、展望台などをつくり、青年や一般村民のいこいの場にしたい。

これも経費がかかることなので急には出来ないが、五三年から調査に入り、新しい農業構造改善事業の中で国から補助を得てつくりたいと思っています。

現在道路だけは通れるようにつくりました。

次にキャンプ場ですが、江竜田の滝や強滝には是非ほしい。商工会青年部で他のキャンプ場などを視察して、五四年に強滝に三つ四つつくる計画を立ててみたらどうでしょう。

皆さんから話は出なかったが、鹿角平の牧場にキャンプ場をつくることはどうですか。一歩進めて企業的に、レストハウスをつくってバーベキューをやってみてはどうでしょう。これはよろこばれると思うが、商売になるかどうかは問題だが・・・

過疎対策と魅力ある村づくり



橋本正嗣　過疎現象や人口流出の対策について

鮫川村のめぐまれた自然をPRし、都会の生徒、学生に対しての林間学校、夏期合宿など進めてはどうでしょうか。

村内には女子の働く工場はあるが、男子の働く場所が不足しているのでこれらの対策について、また魅力ある村づくりについておたずねします。

村　長　過疎対策はむずかしい問題で、簡単には解決しない問題です。

只今の話のように、村の自然の美しさを宣伝して都会から来てもらうのもよいが、ただ村に遊びに来て一夏過ごして帰ってしまうのでは村の人口増加にはつながらない。

そこで五二年の村の人口の動きをみると、転入一八三人、転出二八一人で差引き九八人減、出生別では出生一〇二人、死亡五九人で差引き四三人増になっています。

高度成長時代の出稼ぎが多かった時にくらべると、最近は一年間に一〇〇人以上子供が生まれるようになった。

この傾向を強めて、健康な赤ちゃんがたくさん生まれることを望みたい。

それから転出を少なくするためには、まず働く場所を多くしなければならない。

男子型の工場をもっと誘致して男子の働く場所をつくる必要があるが、景気が回復しないと工場はなかなか来ない。道路交通をよくして通勤圏を広げることも必要です。

それから男子の働くところ必ずしも工場とは限らない。農業、畜産、特産物の生産に、生きがいをかけて働く、自立農家を目ざす青年の皆さんが出ることを期待したいものです。

今年から新農業構造改善事業を計画していくので、その中でこのような問題も十分に研究していきたい。

過疎問題は国家的にも重大な問題であるから、国の対策を十分とり入れて、魅力のある村づくりを進めてゆかなければならないと思います。

そこで「魅力がある」とはどんなことか。人によって違うと思うが皆さんに聞いてみたい。

どのようなものがあれば、鮫川村に住んでいきたいと考えますか

私が皆さんのころに鮫川村に住んでいきたいと考えたのは、自分のやる仕事、自分のやらなくてならない仕事があったからです。

これは一つの生きがいですね。



須藤宏　魅力があることとは「自由な時間」があることだと思います。農業とか商工業に従事している人は時間的に制限されてしまうが、その点勤めている人は勤務が終れば自由になる。それが魅力だと思います

村　長　自由な時間、ゆとりのあることですね。たしかにそれも生活の中の大きな魅力といえましょう。



商工会長　今の問題は一方からみたことで、たとえば勤め人からみると時間的に拘束されるとか、上司がいるとか、商売の場合自分で自由になり利益もあげられる。

須藤宏　たしかに長所短所がありますね。

村　長　一般に何が魅力かといわれると、生活が便利になること。収入がふえて生活が楽になる。環境が住みやすい。隣近所が仲よく付き合える。このようなことが魅力の本体ではないかと思われます

村内の道路はいつごろまでにほ装に



円井利一　道路整備事業について

年々道路の整備が進められてよくなっているが、村道、県道の整備と、国道二四九号線の赤坂中野地内の今後の工事の見通しについて、また役場前から畜産センター前までの河川の改修についておたずねいたします。

村　長　国道三四九号線は昭和五〇年に国道に昇格したが茨城県の方はほとんどできているし、改良事業は鮫川村に集中しているような感じです。

強滝の残っていた部分はもうほ装が完成します。湯之田の上から歳の草間、木戸沢入口から戸草間これは五四年にほとんど完成し、一部残っても五五年には鮫川の国道は全線ほ装になる見込みです。

国道二八九号線はほ装ができているので、災害防除工事をしている程度です。

国道三四九号線の改良に使われたお金は、昭和五三年に三億七〇〇〇万円で、現在までに八億三三〇〇万円使われています。

県道の黒田・浅川線は五三年度に本坂がほ装され、滝地内の一部が残っても五四年には完成するでしょう。

残っているのは東野地内で、初め唐露の方から始まったが、経費がかかる割合には交通量が少ないので、県でも広畑の方から改良するように変更しました。

主要地方道鮫川・棚倉線は赤坂中野地内からほ装になり、わずか残っているが、鮫川分は五四年には全線ほ装になります。

次に赤坂東野・塙線の富田地内も五四年には全部終る見込みです

一般県道赤坂西野・石川線は折戸地内など沿線のほ場整備事業に関連して用地が確保されるので、改良が促進されることになります

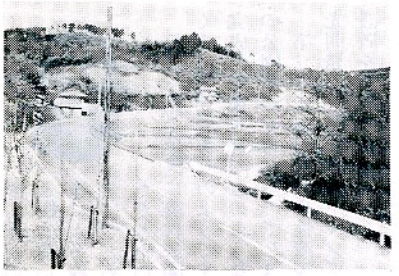
なお明内・田中線については、何とか後れを取り戻すよう努力したいと思っています。

村道は、一級村道の一部と学校道路は全部ほ装になりました。続いて他の村道も改良は装を逐次進めたい考えです。

そのほか富田・山田線が山村基幹農道の指定を受け、県が代行して二億一四〇〇万円にのぼる大工事を施行する計画があります。

河川関係では、鮫川が二級河川渡瀬川が一級河川で、その改修工事には県費・国費が使われます。

またこれらの工事は、川の巾員を確保しなければならないので、潰地面積が相当多くなることは覚悟しなければなりません。


改良ほ装工事が進む国道３４９号線（歳の草地内）

阿武隈開発ではどのような事業を



鈴木香　阿武隈山系開発計画の完成後の畜産振興の見通しと、鹿角平の乾草供給センターの規模及び今後の運営はどうなるかおたずねします。

さらに、五三年は米が豊作で超過米が多く、五四年以降も生産調整が続くと思いますが、これらの対策と農業基盤の確立に対する村の対策についておたずねします。

村　長　阿武隈山系開発事業は、単に牧場を作るだけのものではなく、阿武隈山系全体の産業的、社会的開発発展をはかり、そこに定着する人々がたのしく豊かに暮らせるような生活環境をつくることがねらいです。

阿武隈山系地域を開発して生産をあげるには、田圃にして稲をつくることもできなくはないが、それよりも自然の地形を利用して、牧野をつくり畜産基地にする。これに連絡道路をつける。そして放牧場、採草牧場、肥育牧場、この三つがスタートすることになります

放牧場の利用で、今まで一戸当り二頭飼っていた牛が五～六頭飼うことが出来、採草牧場では、草をつくって乾草にして供給する。

肥育牧場では、素牛を一〇〇頭単位ぐらい集めて、肥らせて販売する。郡山に食肉センターが新しくできるので、こういう所と契約して有利に販売し、畜産の収入を従来の二倍三倍にしようという目標で進められています。

鹿角平牧場で生産される乾草はたいへん評判がよく、五三年には約一六〇トン、八〇〇万円以上の売上げがありました。昨年は初年度なのでこれくらいですが、普通なら一、六〇〇万円ぐらいはあがると思います。

商工会長　八〇〇万円収入をあげるのにいくらぐらい経費がかかるのですか。

村　長　人件費は職員二人ですから年間三〇〇万円くらい、それに肥料代や燃料費がかかります。

足りない分は四町村で負担しています。

次に五三年の米の生産調整は、村の減反割当て面積が六一ha。実施した転作面積が七三・四九haで一二〇%の実施率になりました。

これから一〇年間生産調整が続くわけですから、この機会に湿田を改良して、米だけでなく畑作もできるような土地基盤にすることが大切です。

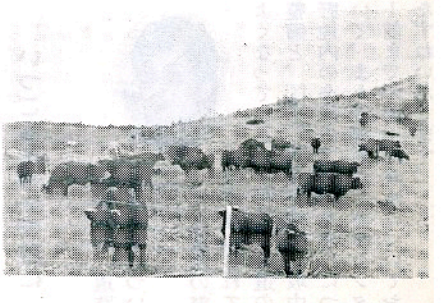
商工業振興対策について



古館誠二　村内の誘致工場では労働力の不足があり、特に若い女子労働者が不足しているので、村内への就職と労働力の確保を要望します。

次に商工業事業への助成強化と商工会事務所の改築の検討をお願いします。

第三に村消費材及び土木事業の村内発注についてなお一層の利用をお願いします。



村　長　これは皆さんにとって、密接な関係のある問題です。

村民の所得が多くなれば商業も盛んになる。今までの農業一本でなく、工業を導入して賃金収入の機会を多くする。これも重要な施策として推進してきました。

そこで、若い労働者が少ないということですが、工場側の待遇にも問題があると思うが、誘致した側としては企業がなり立つような援助措置も必要と考え、税制上の優遇もやっています。

工場の誘致については、今後も努力していきたいと思いますが、景気の回復が必要であるし、地域社会が工業を育てる配慮というものも望まれるわけです。

また若年労働力の吸収については、学校側の進路指導にも期待をかけたいと思っています。

商工会の助成については毎年要望があり、逐次増してきましたが年度始めに事業計画を立て、それぞれの事業に即した補助を要請する方法をとった方がよいでしょう

商工会事務所は商工業者の家というべきものですから、皆さんで十分研究し、討議して具体案をまとめて欲しいものです。

次に消費材や土木工事のことはそのような方針で進めているので大分実績が上っているようです。

一つ努力してほしいのは、工事の現場を管理する技術者の資格などもどんどん取って貰いたいと願っています。県、国の補助事業が多いので、業者の登録をしただけでは資格がないとできないことがあります。



一〇年後の鮫川村はどのように



蛭田彦忠　村の長期ビジョンについて

豊かな村づくりを進められていますが今後五年一〇年後の村をどのようにしてゆくか。

また、産業人口の推移の見通しと、各種施設、役場、村営体育館の設置見込みについておたずねします。

村　長　これから一〇年二〇年後の鮫川村はどう在るべきか。このビジョンづくりについては、村勢の長期振興計画を樹てる作業を進めていますまだ基礎調査の段階ですが一応の基本的な構想は考えております。

基本理念と基本施策とに別けて考えていますが、昭和六〇年から六五年あたりに焦点をあわせています。

人口は五、五〇〇人ぐらいに減ってきたが、やはり六、〇〇〇人台を確保したい。

産業構造は純農村であった昭和三〇年の状態に戻すことはできないが、自立農家をしっかり育成していく。それと併行して商工業、サービス業というものが調和を保ちながら繁栄する。そのような姿に発展させたい。

第二次、第三次産業、サービス業、公務員などのサラリーマンは増える傾向にあるが、役場事務なども一部民間委託を考えるべき時代になります。

長期ビジョンの基本理念はまだ決っていないが、より明るく、より豊かに、より人間性あふれる、文化の香り高い郷土づくりを進める必要があると考えます。

その中で、人間尊重、暖かな人間愛、高い道義感、知能と情操の調和のある発達、健康で憩とゆとりのある住民生活を築いていかなくてはなりません。

鮫川村はまだまだ開発する資源がたくさんあります。これを活用して、地域の特性を生かした魅力ある産業の発展を図っていく。

農村のもつ美しさと都会的な便利さを兼ねそなえる文化の香り高い郷土をつくるということが将来に向ってのビジョンになるかと思います。

そこで、村営体育館ですが、これは健康の増進、ゆとりと憩のある生活には必要であると考えますこれには一億から二億はかかると思うので、農業者のトレーニングセンターという形にして、新農業構造改善事業の中に組みいれて計画したい考えです。

更に、各大字に集会施設や区民の広場をつくることも検討しています。

さぎり荘に宿泊施設を



鈴木優　さぎり荘の運営についてですが、これまでの年間利用人員と収支状況さらに、宿泊施設をつくる考えがあるか、また将来民間に委託する考えがあるかどうかおたずねします。

村長　白河広域市町村圏の事業でつくった老人福祉センターさぎり荘の他と違うところは、温泉源を利用している点です。これをもっと宣伝すれば利用が増えると思います。

年間利用状況は、昭和五二年で四、三六三人が利用し、そのうち村内が四、〇三八人、村外が三二五人となっています。

収支関係ですが、収入百五万五千円、支出二百八九万二千円で差引き不足が百八三万七千円。不足分は白河市外一一町村で負担しています。

宿泊施設をつくればもっと利用が増えるだろうという話もあるがそうすると賄調理、宿直などで人件費が二～三倍になるので経営は容易でなくなります。また他の旅館にも影響があるでしょう。

民間に委託する方法もあるが、そうすると料金が高くなり、老人に安く利用してもらうことが出来なくなる。

老人の方々に憩を楽しんでもらうことで、しばらくはこのままの運営になりそうです。

司会者　質問事項は一応終りましたが、その外に何かお聞きしたいことがありましたらお願いします

村　長　何か要望みたいなものでもありませんか。

須藤宏　館山農村公園の計画の中で、体力づくりのためにアスレチック的なものを取り入れたらよいと思いますが。

村　長　規模の問題はあるが結構ですね。

須藤宏　トレーニングセンターにはプールもほしいです。

村長　トレーニングセンターをつくるときは、やはり大人のプールもあるべきで、計画してみたいと思っています。

湯座良政　館山農村公園設置の中で、子供の遊び場をつくってはどうでしょうか。

村長　主体は成人向にしたいが子供の遊び場、遊び道具もあってよいと思う。

商工会長　広畑に児童遊園地をつくっていただきましたが、狭いうえに、河川拡張工事でなお狭くなりそうです。遊園地を拡張してほしいと思うのですが、土地は地元で確保するようでしょうか。

村長　地元で土地を寄付して頂けば有難いと思います。



司会者　予定時間も大分経過いたしましたのでこの辺で終了したいと思います

村長さんにはお忙しいところご出席いただき誠に有難うございました。今後共商工会青年部の活動にご指導ご協力をいただきますようお願いいたしましてこの会を閉会いたします。





鮫川村は小名浜石油貯蔵基地の隣接地になっているため、石油貯蔵施設対策等交付金を交付されることになったので、これを財源にしてかねて手ぜまになっていた青生野小学校舎の増築を計画し、去る12月5日起工式を行い、石田村長が力強く鍬入れの儀を行い工事の無事を祈りました。

この事業で音楽室、理科室、保健室、職員室、校長室などができます。

幼児の交通安全に役だてて下さいと寄付

このたび、大字赤坂中野字大塩大楽勝弘さんが、幼児の交通安全のために役だてて下さいと、村交通対策協議会に一〇万円を寄付されました。

大楽さんは、去る一〇月一一日自宅前の道路で長女の美枝さん（五才）が交通事故にあわれ、病院に入院治療しておりましたが、このほど全快されたので、この快気を祝い、又今後幼児の交通事故が発生しないようお互いに注意しあうことを願い寄付されたものです

村交通対策協議会では、大楽さんの意志にそって、有効な交通安全用具の購入を検討しております

道路交通法の改正点　その2

自動二輪　原動機付自転車

自動二輪車、原動機付き自転車の乗用ヘルメットの着用が、義務づけられました。

自動二輪車に乗る時は、運転者も、荷台に同乗する者も、必ずヘルメットをかぶらなければいけません。

いままでは、最高時速四〇キロ未満の道路なら、ヘルメットは不用でしたが、これからは、ヘルメットなしでは自動二輪車には乗れません。

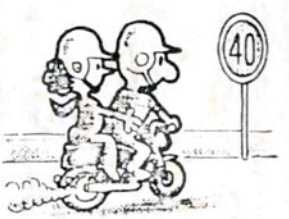
四〇キロ以上で走れる道路を、ヘルメットなしで運転すると、違反点一点です。

また、高速自動車国道や自動車専用道路では、二人乗りしてはいけません。

罰則は、いずれも三万円以下の罰金です。

原動機付き自転車に乗るときもヘルメットをかぶらなければいけません。

原動機付き自転車に乗って買い物に出かけるお母さんたちも、必ずヘルメットをかぶって運転しましょう。



ヘルメットの着用が義務づけられました。

暴走行為の禁止

ジグザグ運転横列運転は懲役六カ月

暴走族に対する取締まりが、一段と強化されました。

これまでは、自動二輪車が道路を横いっぱいに広がって走っていても、センターラインを越えた場合は検挙できるものの、左側通行車線内では取り締まることができませんでした。

これが今回の改正で、二台以上の自動二輪車や車を横に連ねて運転したり、道路いっぱいに広がってのジグザグ運転、走っている車を包み込んでのいやがらせなど、共同して交通を防害したり、他人に迷惑をかける行為をした場合は全部の車が取り締まりの対象になります。罰則も厳しく懲役六カ月以下。罰金五万円以下。違反点九点で、無免許運転よりも重い行政処分を受けます。

（次号へつづく）



かわいい幼稚園児の学習発表会。踊る子供さんも、見るお母さんたちも真剣そのものでした。